

茨城県中性子利用促進研究会
平成 29 年度小角散乱分科会

主催：茨城県中性子利用促進研究会

共催：中性子産業利用推進協議会

協賛：(一財)総合科学研究機構中性子科学センター
J-PARC MLF 利用者懇談会

日時：平成 29 年 12 月 8 日(金) 13:00-17:00

場所：エッサム神田ホール 1 号館 401 会議室

〒101-0045 東京都千代田区神田鍛冶町 3-2-2

TEL: 03-3254-8787 (次頁の<会場へのアクセス>をご参照下さい)

テーマ：iMATERIA 小角散乱機能による材料構造解析の展開
ー散乱実験から計算機解析へー

趣旨：

茨城県が中性子の産業利用促進のために J-PARC MLF に設置した茨城県材料構造解析装置(iMATERIA)の小角散乱 (SANS) 担当者は、動的核スピン偏極コントラスト変調法のような世界に先駆けた機能を準備しながら、SANS をより実効性のある解析手法にするため、計算機解析との連携を推進している。今回は、iMATERIA の SANS での最新の実験例を紹介するとともに、散乱実験をベースにした計算機解析の現状について招待講演をいただき、SANS における散乱実験から計算機解析への展開を概観する。

プログラム

13:00-13:05 開会挨拶 分科会代表 小泉 智 (茨城大)
13:05-13:20 iMATERIA における中性子産業利用 富田俊郎 (茨城県)
13:20-13:40 iMATERIA におけるマルチスケール解析の取り組み
ー小角散乱から広角散乱までー 吉田幸彦 (茨城大)

<招待講演：散乱情報から実空間構造を描く>

13:40-14:20 モンテカルロシミュレーションと小角散乱
田代孝二 (豊田工大、茨城大客員教授)
14:20-15:00 高分子の場の理論に立脚したシミュレーションの現状と展開
川勝年洋 (東北大)

15:00-15:15 休憩

<最近の実験例>

15:15-15:50 量研機構(QST)における燃料電池電解質膜の研究
ー材料合成から構造解析までー 前川康成 (量研機構(QST))
15:50-16:25 コントラスト変調小角散乱による燃料電池触媒の構造解析
ー小角散乱と電子顕微鏡、反射率の併用ー 小泉 智 (茨城大)
16:25-15:55 動的核スピン偏極装置開発の現状と今後の計画 能田洋平 (茨城大)

16:55-17:00 閉会挨拶 (今後の予定など)

峯村哲郎 (茨城県)

交流会 : 17:10~19:10

神田駅近くの「ワインホール 130」で交流会を開催します。参加費は 2,000 円です。講演者と参加者のざっくばらんな意見の交換の場になりますので、是非ご参加下さい。参加希望者は 12 月 6 日 (水) までに、分科会参加申込みとともに登録下さるようお願い致します。参加費は当日いただきます。なお、当日キャンセルされた場合にも参加費をいただきますのでご了承下さい。

<参加申込み>

茨城県中性子利用促進研究会 事務局 田中志穂

E-mail: tanaka@ibaraki-neutrons.jp

TEL: 029-352-3301

(1)名前, (2)所属, (3)連絡先(電話番号, E-mail address), (4)交流会への参加の有無をご記入の上、メールにてお申込みください。取りまとめの都合上、できるだけ 12 月 6 日 (水) までにご連絡をお願い致します。

<会場へのアクセス>

<貸し会議室>エッサム神田ホール

東京都千代田区神田鍛冶町 3-2-2

JR 神田駅北口徒歩 1 分

東京メトロ銀座線神田駅 3 出口前

<http://www.essam.co.jp/hall/access/>



<交流会場のご案内>

会費 : 2,000 円

時間 : 17:10~19:10

会場 : ワインホール 130

(右の案内図をご参照ください)

<http://tabelog.com/tokyo/A1310/A131002/13144314/>

東京都千代田区内神田 3-18-8 ナルミビル 4F

TEL: 03-5295-2525

